

第 15 章	社会(公民)	名前:	日 付	No.01
	社会保障・公害			

[問題 1]

文中①～③にあてはまる語を書きなさい。

日本国憲法は「すべて国民は(①)で(②)的な最低限度の生活を営む権利を有する。」と定めており、この考えにもとづいて、国民一人ひとりの福祉を社会全体で守っていくための(③)の制度が定められている。

[解答欄]

①健康	②文化	③社会保障
-----	-----	-------

[解説]

【社会保障の法的根拠=憲法25条】

- ・健康で文化的な最低限度の生活を営む権利
- ・国は、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上および増進に努めなければならない。

資本主義の初期のころ、「毎日のパンがほしかったら、額に汗を流して働くことだ。働かざる者、食うべからず。」と考えられ、貧困は怠惰や浪費などの個人的な理由によるものとされ、その解決も個人の責任とされてきた。しかし、不況で大量の失業者が発生している場合など、働く意志があっても働くことができず、毎日の生活を維持していくことができないなど、かならずしも個人の責任とはいえなくなってきた。

そこで、生活が困難になったとき、個人にかわって国が生活の保障を行う**社会保障**の制度が生まれた。日本の社会保障制度は、「すべて国民は、**健康で文化的な最低限度**の生活を営む権利を有する」「国は、すべての生活部面について、**社会福祉、社会保障及び公衆衛生**の向上および増進に努めなければならない。」という**憲法 25 条**の**生存権**の規定にもとづいて整備された。

[問題 2]

次の表を見て、各問いに答えなさい。

[③]… 生活保護(生活扶助・教育扶助・医療扶助等)
[④]… 医療保険・年金保険・雇用保険・労災保険等
[⑤]… 老人福祉・児童福祉・母子福祉・障害者福祉等
公衆衛生と医療… (⑥)予防・公害対策

日本の社会保障制度は、「すべて国民は、(①)で文化的な(②)限度の生活を営む権利を有する」という規定にもとづいて整備された。そして、(③)・(④)・(⑤)・公衆衛生と医療の 4 つを基本としている。

- (1) ①～⑥にあてはまる語句を書きなさい。(③～⑤は上の表と一致すること)
 (2) 下線部の文章は憲法の第何条でしょうか。次の中から選びなさい。

[第 9 条 第 25 条 第 31 条 第 95 条]

[解答欄]

(1)①健康	②最低	③公的扶助	④社会保険
⑤社会福祉	⑥伝染病	(2) 第 25 条	

[解説]

日本の社会保障制度は、「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」という憲法 25 条の規定にもとづいて整備された。社会保障は、社会保険、公的扶助、社会福祉、公衆衛生の 4 つを基本としている。

【社会保障の4本柱】

- ・ 社会保険
- ・ 公的扶助
- ・ 社会福祉
- ・ 公衆衛生

1) 社会保険

社会保障の中心となっているのは社会保険で、病気や事故・失業や老後の生活にそなえて、加入者が日ごろから少しずつ掛け金を積み立てておき、必要なときに給付を受けるしくみになっている。そのうちの医療保険は、病気やけがの際に給付を受ける保険である。年金保険は高齢者世帯の収入の多くを占め、高齢者を支える保険である。雇用保険は失業したとき生活費を支給し、再就職を助ける制度である。また、高齢化が進むなか、自宅や施設で保健・医療・福祉サービスが総合的に受けられることを目的とした介護保険制度が2000年から導入され、40歳以上の全ての国民が保険料を負担することになった。

2) 公的扶助

公的扶助(生活保護)とは、生活に困っている人への国の経済的援助である。例えば、老齢のため働くことができず、貯蓄もなく、たよるべき子どももないため生活を維持することが著しく困難な場合、社会保険事務所に生活保護の申請を行うことができる。

3) 社会福祉

社会福祉は、社会生活上でハンディキャップをもつ人(社会的弱者)の生活を保障し、自立を助けるための制度である。老人・心身障害者・母子家庭・児童などがその対象となる。具体的には、老人ホームなどの福祉施設、障害者のための援護施設や職業訓練施設、児童養護施設や保育所などの社会福祉施設が作られ、市町村に設けられた社会福祉事務所が福祉行政を行っている。

4) 公衆衛生

国民の健康と公衆衛生の向上を目的としている。保健所などが中心になって伝染病の予防などを行っている。下水道の整備やゴミ処理などの環境衛生も公衆衛生に含まれる。

[問題 3]

社会保障制度について、次の A～D は何という制度か。

- A ふだん保険料を支払い、病気・高齢・失業などのときに給付を受ける。
 B 生活に困っている人に対して、国が援助する。
 C 児童・母子世帯などの生活を保障し、その福祉をすすめる。
 D 伝染病予防・予防接種などのサービスを提供する。

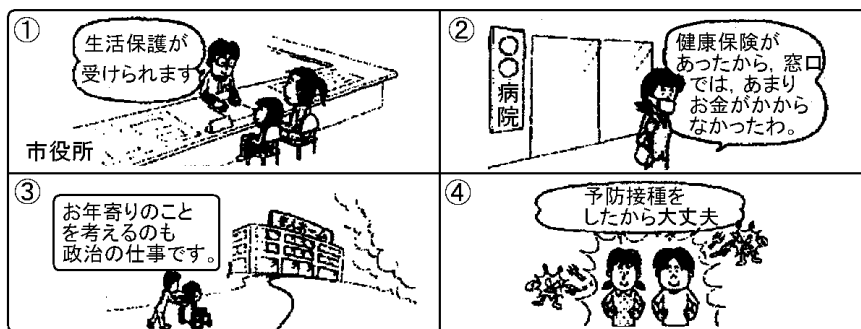
[解答欄]

A 社会保険	B 公的扶助	C 社会福祉	D 公衆衛生と医療
--------	--------	--------	-----------

[問題 4]

次は、日本の社会保障制度を図示している。それぞれが表しているものを[]から選びなさい。

[社会保険 公的扶助 社会福祉 公衆衛生と医療]



[解答欄]

① 公的扶助	② 社会保険	③ 社会福祉	④ 公衆衛生と医療
--------	--------	--------	-----------

[問題 5]

次の各問いに答えよ。

- (1) 社会保障制度に関して、次の表中の A～D にあてはまる語句を、下の[]から選んで書け。

種類	(A)	(B)	(C)	(D)と医療
内容	生活保護 ・生活扶助 ・住宅扶助 ・教育扶助 ・医療扶助	健康保険 国民健康保険 (X) 厚生年金保険 国民年金 雇用保険 労災保険	老人福祉 心身障害者福祉 児童福祉 母子福祉 など	伝染病予防 予防接種 上下水道 清掃 など

[社会保険 公衆衛生 公的扶助 社会福祉]

- (2) 日本の社会保障制度の中心となっているのは、(1)の A～D のうちのどれか。記号で書け。
 (3) 表中の X は、老人の介護問題にそなえて 2000 年から導入された保険制度である。これを何というか。

[解答欄]

(1)A 公的扶助	B 社会保険	C 社会福祉	D 公衆衛生
(2) B	(3) 介護保険		

[問題 6]

次の①～④にあてはまる社会保険を下の[]から選びなさい。

- ① 病気やけがなどで医者にかかるための保険
- ② 働いていて事故やケガなどにみまわれたための保険
- ③ 高齢になってからの毎月の生活資金となる保険
- ④ 体が不自由な人や高齢者に対するサポートを行うための保険

[労災保険 介護保険 年金保険 医療保険]

[解答欄]

①医療保険	②労災保険	③年金保険	④介護保険
-------	-------	-------	-------

[解説]

社会保障制度の中心となっているのは社会保険で、病気や事故・失業や老後の生活にそなえて、加入者が日ごろから少しずつ掛け金を積み立てておき、必要なときに給付を受けるしくみになっている。

社会保険には、医療保険・年金保険・介護保険・雇用保険・労災保険の5種類がある。

① 医療保険

病気やけがをして病院で治療を受けた場合、窓口で自己負担分の費用を支払う。自己負担の割合が3割の場合、例えば窓口で支払った金額が3000円であるとき、残りの7割の7000円は健康保険組合等が負担してくれる。

② 年金保険

自営業者が加入する国民年金の場合、月々の保険料は約14,000円である。年金の支給開始は、原則として65歳である。支給額は保険料を支払った期間によって異なるが、満額で月7,9000円(20～60歳の40年間の場合)、現在の受給者の平均月額額は約5.3万円である。サラリーマンが加入する厚生年金の場合、保険料は収入の約15%で、そのうちの半分は企業(雇用主)が支払う。年金の支給開始は、原則として65歳で、現在の受給者の平均月額額は約16.5万円である。公務員が加入するのは共済組合である。

③ 介護保険

高齢化が進むなか、自宅や施設で保健・医療・福祉サービスが総合的に受けられることを目的とした介護保険制度が2000年から導入され、40歳以上のすべての国民が保険料を負担することになった。

④ その他

雇用保険は失業したとき生活費を支給し、再就職を助ける制度である。

労災保険は、働いていて事故やケガなどの労働災害にみまわれた時のための保険である。